

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 「飛騨・美濃すぐれもの」PR事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 観光資源活用課 広域連携係 電話番号：058-272-1111(内3934)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額： 5,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

「岐阜県ブランド」の看板商品にふさわしい県産品「飛騨・美濃すぐれもの」の発掘・認定を行い、フェアや販売会の開催、広報ツールの制作・活用など、首都圏における商品認知度向上に向けた戦略的なプロモーションを実施することで、県及び県産品のイメージ向上に取り組む。

(2) 事業内容

- ①「飛騨・美濃すぐれもの」の認定審査会の開催(716千円)
 - ・認定審査会 (現物審査・プレゼンテーション審査)
 - ※審査会委員 (百貨店・専門店のバイヤー、メディア関係者等)
- ②大都市圏等における販売プロモーションの実施 (4,226千円)
 - ・「飛騨・美濃すぐれものフェア」の実施
 - ・「飛騨・美濃すぐれもの」商品カタログ・PR冊子の作成
- ③事務費 (58千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県産品を対象とした認定・PR事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

県産品全般を対象とした認定制度は他にはない。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	4,126	フェアの開催、カタログ・PR冊子制作
使用料	300	認定審査会会場借上げ
旅費	376	審査会委員費用弁償、職員打合せ
需用費	164	展示用認定商品買い上げ、消耗品費、会議費
役員費	34	郵便代、電話代
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

1 モノをつくって、地域外からのお金を稼ぐ地域をつくる
(県産品の販売を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

無

(3) 後年度の財政負担

認定商品の更なる認知度向上に向け、引き続き販売促進及びプロモーションに取り組むため、今後も継続的に事業を実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県産品を対象とした認定・PR事業であり、県負担は妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県産品の看板商品である「飛騨・美濃すぐれもの」を戦略的にプロモーションすることで、商品の認知度向上、販路拡大をめざすとともに、県及び県産品のイメージ向上と観光誘客につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		2,702億円	2,900億円	3,100億円	3,600億円	75.1%
②観光入込客数 (実数)		4,263万人	4,750万人	4,800万人	5,300万人	80.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度新規認定7商品、更新認定8商品。 「日本百貨店しょくひんかん」（JR秋葉原駅高架下CHABARA内）に「飛騨・美濃すぐれもの」常設販売コーナーを設置し、プロモーションを実施 県産品販売拠点で「飛騨・美濃すぐれものフェア」を開催 岐阜おみやげ川島店（1月） アクティブG内「THEGIFTSSHOP」（1月）
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大により、2次審査会を取り止め。これに伴い、フェア開催やカタログ・冊子作成も取り止め。 ⇒いずれも令和4年度に延期。 <p>指標① 目標：1,900億円 実績：1,721億円 達成率：90.6%</p>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度から審査延期となっていた令和3年度申請商品及び令和4年度申請商品について、認定審査会にて審査を実施。 令和4年度新規認定16商品、更新認定61商品。 令和4年度版商品カタログ及びPR冊子を制作。 THEGIFTSSHOPにて「飛騨・美濃すぐれもの」フェアを開催。 <p>指標① 目標：2,400億円 実績：2,702億円 達成率：112.6%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	本県の看板商品として普及啓発及び販売プロモーションを行うことで、県及び県産品のイメージ向上につながるため、今後も「飛騨・美濃すぐれもの」の更なる認知向上に取り組む必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	「飛騨・美濃すぐれもの」認定後に、各種メディアでの取り扱いや問い合わせが増えた事業者も多く、商品の露出度や事業者のモチベーション向上に貢献している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	申請手続きや審査方法を簡略化するなど、認定審査会の効率化に取り組んでいる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内や近隣県だけでなく、首都圏において認定商品の露出機会を増やしていく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県産品の看板商品として認定し、当該商品の露出度が増加することで、商品のレベルや事業者のモチベーション向上が期待でき、岐阜県及び県産品のイメージ向上につながるため、今後も継続的に事業を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	